

Title	我が国に於ける戦後公務員犯罪の研究
Sub Title	
Author	山中, 一郎(Yamanaka, Ichiro)
Publisher	慶應義塾大学大学院社会学研究科
Publication year	1975
Jtitle	慶應義塾大学大学院社会学研究科紀要：社会学心理学教育学 (Studies in sociology, psychology and education). No.15 (1975. )
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	学事報告：学位授与者氏名及び論文題目：博士
Genre	Departmental Bulletin Paper
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN0006957X-00000015-0078">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN0006957X-00000015-0078</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

# 博士（甲）

社会学博士

第407号 山中 一郎 昭和49年3月31日

我が国に於ける戦後公務員犯罪の研究

## 〔論文審査担当者〕

主査	慶応義塾大学 経済学部教授 経済学博士 社会学研究科委員	青 沼 吉 松
副査	法学部教授 社会学博士 社会学研究科委員	十 時 敏 周
副査	法学部教授 法学博士 法学研究科委員	宮 沢 浩 一

## 〔論文審査要旨の概要〕

序 論

総 論

- 第1章 公務員犯罪の概念
- 第2章 公務員犯罪研究の社会学的意義
- 第3章 公務員犯罪の構造的特質

各 論

- 第4章 公務員犯罪の時代的特質
- 第5章 官公庁組織と公務員犯罪
- 第6章 社会・経済的構造と公務員犯罪
- 第7章 公務員犯罪と裁判
- 第8章 公務員犯罪と量刑
- 第9章 公務員犯罪人
- 第10章 公務員犯罪の刑事政策的対策
- 第11章 ホワイト・カラー犯罪論
- 第12章 事例研究

公務員犯罪に関するわが国の実証的研究は、その黎明期にあるといて差支えない。これまでに発表された研究業績も決して数多いとはいえない。そのなかの代表的な業績といわれるものも、そのほとんどが外国文献の紹介に終始したものや、統計数値をいじる程度の断片的な事例報告に終るものが多かった。

本論文は、このようなわが国におけるこれまでの研究業績とは異り、社会学理論、とくに、サザランドのディフェンシブル・アソシエーションの理論を座標軸とすることによって、戦後変動過程におけるわが国公務員犯罪現象を体系的、理論的に分析・整理し、その動態を首尾一貫した枠組のなかで把握しようとしたものである。特に、公務員犯罪に関して、わが国の上級公務員と中級・下級公務員とが犯す犯罪が質的に相違している点に注目し、上級公務員の犯罪を重視しながら、その組織性、人間関係、社会関係、犯罪期間、犯罪の種類等の諸項目について、個別にその特性を究明した点に研究の独自性がみられる。

公務員犯罪は、ここ数年、犯罪白書にもみられるように、現代社会に生起する重要な社会問題でありながら、資料入手が最も困難な未開拓の研究領域であった。そのような状況のもとにあつて、日本の現実を生起した生の資料を精力的に探索し、それに基づいて実証的に研究を進めた本論文は、わが国における「公務員犯罪研究」にユニークな地位を占める本格的な研究業績であるといえる。